

8月18日(木)から22日(火)の4泊5日の日程で、第2回うるま市ふれあい少年の翼事業が行われました。この事業は、市内の小中高生が体験活動や共同生活をととして知見を広め、自主性と協調性等を養い、少年団体のリーダー育成及び健全育成を目的に実施されています。

第2回うるま市 ふれあい少年の翼

今回は、本市の小学生50人と中高生10人の団員が宮崎県木城町を訪れました。地元の人たちとの交流会や、初めての稲刈り、そしてホームステイ先での生活など貴重な経験をしました。団員らは協力して作業をしたり、夜遅くまで語り合ったりしてお互いの友情を深めました。



▲ 稲刈り体験の為に、地元の方々がうるま市農場を管理してくれました。

帰りの那覇空港では、たくさんの思い出を胸に少し誇らしげな表情の団員に比べ、迎えに来た保護者の皆さんが“マチカンティー”していたのか安堵の表情を浮かべていたのが印象的でした。

今回の経験を団員の皆さんの学校、地域等これからの活動に活かしてってもらいたいと思います。団員の皆さんの今後の活躍に期待します。



▲ 稲をつかむ位置が・・・指導を受けながら刈りました。

「貴重な経験」
具志川中学校3年
平良 麻乃

私は、ふれあいの翼に参加したのは二度目です。今回初めて班長を経験させてもらって、不安と緊張の中、ジュニアリーダーや引率者、ジュニアリーダーの仲間を支えられて無事に研修を終えることができました。私の1班は、協調性のない班で、「これで本当に大丈夫なのか」と心配でしたが、事前研修を重ねるにつれましまりができたように思います。研修中は、色々な出来事がありましたが、色々なことを学ぶ事ができました。班長の仕事をやり遂げることがとても自分の為になりました。研修に参加して本当によかったです。



▲ ホームステイ先でみんなと楽しくバーベキュー。

「宮崎県、鹿児島県に行つて」
赤道小学校5年
上門 愛

私は、「ふれあいの翼」の団員として宮崎県と鹿児島県に行きました。宮崎県の体験学習では、稲刈りをしたり、竹で花瓶を作ったりしました。稲刈りでは、簡単そうだなと思いましたが、やってみると思うように刈れなくて、とても難しいなと思いました。ホームステイでは、家の人と「えほんの里」やお祭りなどに行きました。短い時間だったけどたくさんおしゃべりしたり、楽しい時間を過ごして仲良くなった、なつみちゃんとは、今、文通をしています。ふれあいの翼の団員になって他の学校の小学生とも友達になれて嬉しかったです。



▲ 稲を束ねて掛け干し作業をしました。おいしいお米ができますように・・・。

「九州での思い出」
兼原小学校6年
長嶺 未駆士

僕は、九州に行つて、班のみんなと協力することの大切さや、人のやさしい心に触れることができました。ホームステイ先の家族は、とてもやさしくほくを迎えてくれました。海のようなプールに行きました。おもしろい遊びました。又温泉へも入り子ども心をくすぐる仕組みがたくさんあり、夢中になって遊びました。ここでの温泉は一生忘れられない思い出になりました。九州では、たくさんの体験をすることが出来ました。ホームステイ先の家族からは、人を思いやる心を教えてもらい、稲刈りや班の活動では、協力し合うことで人と人のつながりの大切さを学びました。